

城端線・氷見線 コンセプト列車



2015.1.22

コンセプト列車…「線区」と「車両」のコンセプトを明確にし、旅の楽しみ方を提案する。

線区のコンセプト「山と海」

北陸は、険しい山と豊かな海に挟まれた地域、山と海に大きな特徴があります。
山から流れる豊富な水が、大きな河川を形成、
その豊かな水が、田畑を潤し、農作物を豊かにしてきました。
豊かな水があるから、美味しい米ができ、美味しい米があるから旨い酒ができる。
また、豊かな水が富山湾まで流れ、山と海の栄養分が混ざり合い、
海の幸も豊かにしてきました。

まさに北陸の地形が、自然が、北陸特有の文化を育んできました。
そして北陸の人は、その「山」と「海」に感謝し、信仰してきました。
北陸本線から唯一、山側と海側の双方に支線のある城端線と氷見線。
散居村と富山湾の美しい風景が広がるこのエリアは、北陸の特徴をよく表したエリアと考えます。

車両のコンセプト「走るギャラリー」

氷見線・城端線の一番の魅力は、自然豊かな車窓だと考えます。
四季折々、その日の時間によって刻々と変わる美しい車窓は、まさにART。
窓枠を額縁に変えれば、列車に乗るだけでギャラリーに入ったイメージ。
氷見～城端線の海岸や散居村、山々の風景は美しく、
この列車で移動することが、実はとても贅沢な時間だと改めて発見できる列車です。

城端線・氷見線のコンセプト列車 ~ 車体外観 ~



EXTERIOR: カラーは走るギャラリーに相応しい、モダンで品格のあるモスグリーンと、メタリックゴールド。山や田園、海沿いを優雅に走る貴婦人のイメージです。

城端線・氷見線のコンセプト列車 ~内装イメージ~



INTERIOR:海側の座席を窓向きに配置し、窓を一部大型化して車窓をダイナミックに楽しめるようにいたします。窓枠を額縁風にデザインし、車窓の景色を一枚の絵画のように演出します。

城端線・氷見線のコンセプト列車 ～概要(予定)～

運転開始

北陸デスティネーションキャンペーン H27.10～12月 までに運転開始

運転区間

城端線(高岡～城端)、氷見線(高岡～氷見)

運転日

土休日を中心にコンセプト列車として運行。年間100日程度(予定)

平日は他の普通列車と同様に運用

座席定員

約50名

車両

キハ40 1両を改造

地元との連携

お客様に城端線・氷見線を満喫していただけるような「おもてなし」を地元の皆様と連携し、検討していく。